

城山陸上競技場の改修に係る打ち合わせについて

20141021 企画政策課作成

日時等：2014.10.21 PM06:30～08:30@小田原アリーナ執務室奥会議室

出席者：市陸上競技協会役員 8 名（会長ほか 7 名）

小田原市 8（企画部政策調整担当部長ほか 7 名）

概要：城山陸上競技場の改修について、企画部より経緯及び改修内容に係る考え方を説明した上で、それぞれの考えや協議運営等にかかる課題・ご意見等について伺ったもの。

I. 施設改修に係る課題等

- 現状の案では、スペース的に選手の待機場所の確保や競技用具の設置が難しい。
- 各レーンを近い位置に並行に並べしまうと幅跳び等と棒高跳びが並行して競技を行うことができない。
(⇒ 協議の並行利用を可とするには、棒高跳びの走路・突き箱をインゴールエリアに設置する案もある。)
- 観客席については十分なスペースを確保してもらいたい。(バックスタンド側への観客席設置も要望あり。)
- 改修案の幅跳びピットの位置は、指導者には選手を近くで指導できるという点でメリットがあるが、運営側にとっては、運営本部競技位置が遠くなるためデメリットである。
- 用具倉庫を新設するのであれば、運用しやすい形を考慮する等、利用者の意見を吸い上げてもらいたい。
- 多目的化に伴い、既存の施設等が使いやすく改修される点については、メリットがある。
- 既存の投擲ゲージは移動が困難な為、可動式（移動が容易）のものに交換する必要がある。

II. 施設利用／運用に係る課題

- 改修後も「投擲種目」の利用を制限する（禁止する）ことは控えてほしい。
- 芝管理に膨大な費用が掛かることが懸念される。各競技が共存できる状況が本当に造れるのか。
- 芝の状態について、JRFUからどの程度のレベル（維持・管理_養生）を求められるのか。
- 適正な芝管理にあたっては専門のグラウンドキーパーが必要かと思われる。現行の委託では難しい。
- 多用途での施設利用を認めてしまうと、スケジュールの調整が大変困難になることが予測される。運用面について「0スタート」での見直しが必要となるのではないか。
- 施設の多目的化に伴い、「陸上競技場の使い勝手」という面ではマイナスになる部分が多々ある。（「自由に芝生地内での練習が可能」、「投擲練習が可能」等）
- サッカーの芝生利用の要望は強い。利用機会が増加することで陸上の利用機会が減ることが懸念される。

III. 今後の検討にあたって

- ラグビーの合宿が入った場合、現行の利用スケジュールにどういった影響がでるのかを明示してほしい。
- ラグビー利用スケジュールの確認に併せて、現在の競技場の使用頻度をまとめてもらいたい。
- 本件は“ラグビーのため”ではなく“市のスポーツ振興のため”という視点で考えなければならない。
- 施設整備等の“ハード面”だけではなく、運用方法等の“ソフト面”も並行して整備する必要がある。

城山陸上競技場の改修に係る打ち合わせについて

20150118 企画政策課作成

日時等：2015.1.16 PM07:00～09:00@小田原アリーナスポーツ課執務室奥会議室

出席者：市陸上競技協会役員6名（会長ほか5名）

小田原市7名（企画政策課長ほか6名）

概要：城山陸上競技場の改修について、前回の打合せ時に示された課題等の対応について企画部より説明した上で、改めてそれぞれの考えや協議運営等にかかる課題・ご意見等について伺ったもの。

0. 資料の説明に先立ち、次の点について述べ、市陸上競技協会への協力を依頼した。

- 市として今回の合宿誘致は市のスポーツ振興も含めた地域活性化の好機と捉えている。そのため、今回のお話は是非実現したいと考えている。改修は年度を跨いで計画的に行うことになると思うが、競技場をより良いものとしていくためにも、是非皆様のご意見を賜りたい。
- 改修後も第2種公認が継続できるかを確認するため、先ず指導願いを提出させていただきたい。

1. 資料に基づき企画政策課より説明。

（主な点）

- 前回いただいたご意見を踏まえ、インゴールエリア内に棒高跳び用の突き箱を設置する。
- 幅跳びレーンの移設により、芝スタンドがなくなってしまうことから、現状の擁壁を削り通路側へ後退することによりスペースを確保し、そこにスタンドを設ける。
- 合宿利用頻度については、ラグビー協会側から3月から6月（場合によっては10月下旬から11月も含む）の期間で各月10日ないし2週間程度の利用を希望されている。
- 投擲種目についてはメンテナンスで対応することは可能。（ラグビー協会からも投擲によりへこんだ箇所を回復してもらう程度で良いとの回答を得ている。）
- 100%現在と同じ状況での利用は難しいが、できる限り現状に近づけた利用となるよう調整を行う。

2. 資料に基づき意見交換

1. 施設改修に係る要望等

- ① バックスタンド側幅跳び等のレーン砂場付近に計測器やその他装置に十分な電源が確保できるか。現状、管理棟の方からケーブルを通して電気を持って来ているが、距離がありなおかつケーブルが細いせいか、どうしても電圧が落ちてしまっている。
- ② また、インゴールエリアで棒高跳び等を実施する場合、棒高跳びのバーの昇降等も装置を利用して（電気を使用して）対応している状況であり、電気配線等が競技利用に支障が生じないように留意しなければならない。
- ③ 砂場への十分な散水が可能となるよう、設備の位置等考慮してもらいたい。
- ④ 崖側のスロープの状態が悪い。芝が剥がれ、また水捌けが悪いため排水が上手くできずに、豪雨の後等は水溜りができてしまっている。併せて芝を貼る若しくはコンクリート舗装する等の対応が図れないか。
- ⑤ とにかくスペースがない現状で、大量の「人工芝」やフィールドを広く使用する際除けておく「ハンマー投げの檻（移動式）」の置場等どこに確保するのか。
- ⑥ 管理棟やトイレ（管理棟1、屋外4）の改修も対応してもらいたい。今後合宿等で利用が広がるのであれば、利用しやすい環境として整備する必要があるのではないか。

城山陸上競技場の改修に係る打ち合わせについて

20150118 企画政策課作成

- ⑦ 以前は、常に一方向（海から）の風が吹き、追い風でレースが行なえる状況にあったが、最近では山側からの風も吹くようになり風向きによって競技に影響がでることもある。山側の木々が成長して生い茂っている影響で海側からの風が抜けずに、競技場内を周るようになっていないか考えている。そのため、一部伐採するなどし、風が抜けるように対応が図れないか。
- ⑧ インゴールエリアへの突き箱設置により、砲丸投げの落下域を一つ潰すということであるが、現状練習用と協議用を分けた運用を図っているため2箇所を設置を確保してもらいたい。 図案のような芝生への投擲では記録痕が取れない。対応策としては、「1. サブトラックへの設置」、「2. インゴールエリアの棒高跳びレーンの一つにして、現状の位置をずらす」または「3. 管理棟側にもう一つ設置する」等が考えられる。但し、「3.」の場合 400mのスタート地点が付近にあるため競技への影響が懸念される。
- ⑨ サブトラックの芝生地部分等が酷い状況なので、今回の改修に併せて張り替える等の対応がとれないか。
- ⑩ 照明をもう少し明るくするなどして使用時間を伸ばすことはできないか。現状は照明というより外灯程度の灯りでしかない。利用時間の延長が可能になれば、利用機会の確保（ラグビー合宿利用時間の補間）にも繋がると思うので検討してもらいたい。
- ⑪ バックスタンド側でも 100m のレース（もしくは練習）が（両方向）からできるようにしてもらえれば、ありがたい。選手たちは何より“向かい風の状態でレースを行うことを避けたい”と考えているため、その対応として整備できればと思う。
- ⑫ バックスタンド側のレーン間をあと1m程度広げることができれば、両レーンを同時展開出来るかもしれない。 そうなれば、インゴールエリアへの突き箱の設置もなくなり、砲丸投げのサークル等も撤去の必要がなくなる。この点が可能か検証してもらいたい。
- （その他）
- 老朽化した倉庫への対応はどのように考えているか。（⇒ 建替えはほぼ不可。補強等での対応を考えている。）
 - ホームストレッチ側に屋根を設置することができないか。
 - ダグアウトも老朽化していて雨漏り等生じている箇所がある。こちらも改修してもらいたい。
 - 文化財の規制エリア外であれば、サブトラックの崖部分を削って広げることができないか。
 - 管理上で難しいかもしれないが、通路側から自由に出入りが可能となるようになれば、利用者にとっても自由に使いやすい環境になるのではないか。
-

城山陸上競技場の改修に係る打ち合わせについて

20150225 企画政策課作成

日時等：2015.2.16 PM07:00～08:30@小田原アリーナスポーツ課執務室奥会議室

出席者：市陸上競技協会役員3名

小田原市7名（企画政策課長ほか6名）

概要：城山陸上競技場の改修について、前回の打合せ時に示された課題等の対応について企画部より説明した上で、改めてそれぞれの考えや協議運営等にかかる課題・ご意見等について伺ったもの。

0. 資料の説明に先立ち、次の点について述べ、市陸上競技協会への協力を依頼した。

- 前回の打合せで皆さんから示されたご意見等に係る対応を内部で検討し改修図面の案を作成した。こちらを御確認いただき、大きな問題等がないようであれば2種公認が継続できるかの確認を行うための指導願いを提出させていただきたい。

資料に基づき企画政策課より説明。（以下、主な点）

- バックスタンド側のレーン間を1m拡げた。これによって両レーンで競技の同時展開が可能となるためインゴールエリアへの突き箱設置及びそれに伴う砲丸投げの落下域の撤去は不要となる。（なおレーン間の1m拡張に対してはスタンドの段数を当初4段から3段に減らすことで対応している。）
- バックスタンド側でも100mのレース等が展開できるようにするため、既存構造物等の撤去等を行いバックストレートの両サイドを必要な分のレーンを延長（ウレタン舗装）する。
- 図面上には示されていないが、バックスタンドの造成工事に併せて砂場付近へ電源及び散水のための給水設備を設置する。また、一度に整備とはなかなかいかないが管理棟内の設備も含めたその他の付帯設備の整備についても視野に入れている。
- 照明設備については、今の何倍も明るくすることはできないが、利用者が安全に利用できるような明るさは確保するよう、増灯やLED電球への交換等で対応を図ることを考えている

資料に基づき意見交換（市陸協□、市■）

1. 施設改修に係る要望等

- バックストレートの管理棟側を延伸させてできたスペースを使用すれば、“ハンマー投げのサークル”を使用しないときに一時的にそちらに置いておくことが可能となる。但し、両サイドを延伸することにより、スタンドの形が“いびつ”になってしまうことは懸念される。
- 確かに形は“いびつ”になる。南（マンション）側の延伸については、管理棟側からスタートした場合に、現状で直線方向に走り抜けるのではなく、トラックに沿って走り抜けることが想定されるため、不要となることも考えられる。
- 電源について、場所によって不足が生じているとの話があったと思うが、整備に伴って配線等を引き直すことで、対応は可能と思われる。また、照明については余り明るくし過ぎてしまうと夜間のサッカー利用の希望が増える可能性が想定されることや、近隣の住宅（マンション等）からの“光による虫害”等の苦情等も考えられるため、“夜間安全にトラックを走ることができる程度の明るさ”で検討することについてご理解いただきたい。

城山陸上競技場の改修に係る打ち合わせについて

20150225 企画政策課作成

- 崖側のスロープの状態が悪い。芝が剥がれ、また水捌けが悪いため排水が上手くできずに、豪雨の後等は水溜りができてしまっている状況である。ここは、選手たちの待機スペースになっており、テントを張ることもあるため、どうか改善できないかと考えている。こちらについての対応はどうか。
 - 基本的に桜の木の下は芝が育たないため地表が見えるような状態になってしまっているものと思う。また排水の関係では、恐らく地面の沈下等によって地中の排水管が詰まってしまい上手く排水ができないという状況かと思う。ここをどう整備すべきか、今後の設計委託の中でその方法を模索していきたいと考えている。
 - 競技場内の風向きについて、やはり山側の木々が成長して生い茂っている影響を懸念している。そのため、一部伐採するなどし、風が抜けるように対応が図れないか。
 - 木々の剪定については、高さもあるため一筋縄ではいかない。森林組合にみていただいた後、相談の上、どこまでできるかといった点の整理は可能かと思う。
 - サブトラックの現状を考えると、バックスタンド側でアップができるようになるのは大きな進歩だと思う。欲を言えば、ここでレースができることが理想であり、中学生の大会などメイン側との同時展開ができれば良いと考えている。
 - バックスタンド側で 100m のレースを行うには判定機の設置が必要となる。設置箇所はバックスタンド後方の通路に三脚等が設置できるような設備もしくは判定機を置ける台などが確保できればよいと考える。
 - 既存石積みの撤去に伴い、当該撤去部分に設置されている照明の移設が必要となる。このため、照明を後方の通路部分に移設するのに併せ、その支柱を利用し判定機を設置できる仕様にすることも考えられる
 - ラグビー用のゴールポスト設置によって、インフィールドの際に設置のための“穴”が設置されることになると思われるが、走り高跳び等の踏切位置に影響しそうな位置となるため、競技に支障がないように位置をずらすといった形で何らかの対応を取っていただきたい。(サッカーゴールを“設置”する場合も同様。)
 - 設置にあたっては競技に極力影響がでないように整備を行うことで考えている。周囲と同レベルにするのはもちろん、芝生で蓋をする等対応は図れるものと思う。
 - 現状管理棟の前の芝生部分に文化財(現状“敷石”)がおかれているが、ここ(もしくはその周辺)を撤去して有効な活用が図れないか。
 - 当該文化財はこの施設整備時に出土したものであり、文化財として登録されていることから、移設や撤去は“ほぼ不可能”である。表出している部分以外(遺跡に影響が出ない範囲)であれば活用は可能と考えている。
 - 長距離走の練習を行う選手達は脚への影響を考え芝生の上を走ることが多い。この時に芝生に穴が開いた状態が放置され、捻挫等の故障を誘発してしまうと問題になる。維持管理をしっかりと実施してほしい。
-

城山陸上競技場の改修に係る小田原市陸上協議協会との協議について

20150402_企画政策課作成

日時等：2015.4.2 PM07:00～PM08:30@小田原市役所本庁舎 3階 301会議室

市陸協：市陸上競技協会役員6名（会長ほか5名）

小田原市：小田原市8名（企画部政策調整担当部長ほか7名）

【概要】

競技場改修案等の説明を行った上で、本件整備にかかる市陸協の要望も含めた考え等を伺ったもの。（※主なものを抜粋）

- 幅跳びピット [移設後] の砂場前方の擁壁は圧迫感が出るので配慮願いたい。また、指導願いで指摘のあったウレタン舗装については、選手たちの利用勝手から言うと対応してもらいたい。但し、全面ウレタンで舗装する必要性はない。（該当地の一部を芝生のままにすることは特段問題ない。）
 - ハンマー投げ等で設置してある“檻（囲い）”に関して、現在の可動式檻の仕様では、既設砲丸投げサークルの落下域やトラックにはみ出してしまふかもしれない。対応として、「インフィールド内各競技の助走路を少しずつずらす」もしくは「砲丸投げサークルの落下域を潰して、残した方を練習・本番で兼用するか」といったことが挙げられる。（先ずはどの程度のスペースが必要となるか確認を行う。）
 - 電光掲示板については、メインスタンド側から見て、現在、どんな競技が行われていて、どのような記録がでたのか明確に判るくらいの大きさを希望する。
 - 周辺も含めた駐車場の確保はお願いしたい。特に、中学生以下の試合で親御さんが利用する場合に停める場所がなく、路上に駐車してしまう方も出ている現状にある。
 - ダグアウトへのLANケーブルの確保も含め、今後の利活用を考えると今回の整備に併せて余分でも配管（線）を多く設置しておいてもらいたい。
 - 管理等ロビーの展示に関しても、これまでよりも充実を図るなど検討をしてもらいたい。
-

城山陸上競技場の改修に係る小田原市陸上協議協会との協議について

20150415_企画政策課作成

日時等：2015.4.15 PM07:00～PM09:00@小田原市役所本庁舎 3階 301 会議室

市 陸 協：市陸上競技協会役員 4名（会長ほか 3名）

小田原市：小田原市 7名（企画部政策調整担当部長ほか 6名）

【概要】

競技場の改修に係る大筋での合意へと向けて、改修の内容等について意見交換を行ったもの。（※主なもの、特に新規事項で確認が必要なものを抜粋。）

- 大型の電光掲示盤またはフィールド型電光掲示盤（4基程度 [想定]）の設置は、是非お願いしたい。⇒ピットがバックスタンド側に移設することによる競技役員、監督、選手及び観客への配慮 [見易さ] を要望するもの。
 - 管理棟側からバックスタンドへの動線を確保してもらいたい。また、遺構に影響が出ない範囲で掘削し、8レーンの外側に1mでも1.5mでも拡げてもらいたい。⇒ピットがバックスタンド側に移設することによる競技役員、監督、選手及び観客への配慮 [移動のし易さ] を要望するもの。
 - 現在の使い勝手を踏まえ、管理棟内のスペース（会議室、医務室、休憩室及び物置）の活用方法を考えてもらいたい。
 - ⇒ 余り利用していない部屋を活用してトレーニングスペース（アリーナ規模ではなく、フリーウェイト中心で利用者が気軽に使える場所）を確保してもらいたい。
 - ⇒ 畳の休憩室などは不要だと考える。また、物置等を整理すれば他の用途に使用ができるのではないか。
 - ⇒ 管理棟内に広くて綺麗なトイレがあれば、外トイレの数確保は不要。（特にサブトラックの横、[外から気軽に利用できれば]管理棟の横は不要との認識）
 - 周辺も含めた駐車場確保について、そこが駐車場とはっきりと判る様アスファルト舗装やライン引きする等に加えて、申請等の手続きがなく簡易に利用できるようにしてもらいたい。⇒周辺用地の管理等について担当所管に確認/整理する必要有り。
 - 現状の器具庫のリニューアルを考えるなかで、現状の用具のしまい方や要・不要を整理して、空いたスペースに招集所を確保する等使い勝手の検討をしてもらいたい。
-

近隣高校との協議の経緯

【1】日時等：2015.5.11 PM04:00～05:00@学校法人 明德学園 相洋高等学校 会議室

出席者：同校陸上競技部顧問 1名

小田原市 2名（企画部政策調整担当課長ほか 1名）

概要：ラグビー日本代表の合宿及び城山陸上競技場の改修に係るこれまでの経緯の報告と、今後の利用調整に係る相談等を行ったもの。いただいた主なご意見は次のとおり。

意見等：使用頻度が下がることで選手たちへの影響はあるものと思うが、あくまで使用させてもらっている立場であり、この件については基本的に市の意向を尊重してもらえればと思う。

今回の改修で設備の改修等で使いやすくなる部分がある点でメリットもあるものと思う。

これまでも改修等で使用できない場合は学校のグラウンドや市外の競技場等で練習を行っているため、同様の対応を取ることが考えられる。

大きな大会等の事前に競技の感覚を養うためにトラック等競技場を使用したいという時期がある。この時期については、城山陸上競技場を使用させてもらいたいというのが本音である。

合宿利用で日程が抑えられたときに、グラウンドで誰も練習をしていないのに使用できないという状態は避けてもらいたい。例えば、合宿期間中であってもこの時間帯からは使用ができるといった情報が当日でも共有できるような仕組みを作ってもらえればありがたい。

【2】日時等：2015.5.14 PM04:00～05:00@神奈川県立 小田原高等学校 会議室

出席者：同校教頭、顧問 1名

小田原市 3名（企画部政策調整担当課長ほか 2名）

概要：ラグビー日本代表の合宿及び城山陸上競技場の改修に係るこれまでの経緯の報告と、今後の利用調整に係る相談等を行ったもの。いただいた主なご意見は次のとおり。

意見等：どの程度の制限がかかるか分からないが、何とか入り込めないか。

現在は、午後 4 時から 6 時半まで使っており、中途半端に毎日 1 時間程度という利用よりは、例えば、月・水・金など曜日を決めて、しっかり使える時間帯を設けて欲しい。

投擲種目も、引き続き使えるようにしてもらいたい。

